

## カエルキャラバンの流れ



遊ばなくなったおもちゃを持っていくと「カエルポイント」がもらえます。



「カエルポイント」で好きなおもちゃをゲット!



楽しい防災体験で「カエルポイント」を貯めよう!



最後にオークションを開催。貯めたカエルポイントでレアなおもちゃを落札しよう!

イザ!カエルキャラバン!のサポートスタッフを募集しています。お手伝いいただける方は、9月13日(木)19:00~第一寺島小学校理科室で事前打合せを行いますので、下記の電話番号にお問い合わせください。(090-2524-0052 事務局 佐原)



# 祝!第10回 イザ! カエルキャラバン! in寺島2018

日時: 9月30日(日) 13:00~16:00

場所: 第一寺島小学校(校庭)

参加  
無料

2010年から「一寺言問を防災のまちにする会」が主催することも向け防災体験ワークショップ「イザ!カエルキャラバン!」も今年でなんと10回目の開催となります!  
一寺言問地区は、地震や火災などの災害への対応の他に、近年では、局地的な集中豪雨等による都市型水害への対応も必要になっていきます。  
今回の第10回のイザ!カエルキャラバン!は、9月末に開催するため、子どもたちに楽しく体験できる都市型水害に関する防災プログラムでも準備しています。



←昨年度の様子

### 一寺言問を防災のまちにする会について

主催の「一寺言問を防災のまちにする会(通称:一言会)」は百年後に子どもたちに残せるまちを目指して、地域で取り組む防災活動を展開しています。今回の防災訓練の活動もその一環です。その他にもいろいろな活動を行っていますので、ご興味ある方はぜひ会合にお気軽に参加してください。次回の会合は第一寺島小学校理科室で9月13日です。

### イザ!カエルキャラバン!とは



イザ!カエルキャラバンとは阪神・淡路大震災の被害者の方々の体験をもとに、いざ!という時に必要となる知識や情報を楽しみながら学習できる、体験型の防災訓練プログラムです。このプログラムは、阪神・淡路大震災の教訓を風化させず、次世代につなげていくために開発され、神戸市内の小学校の防災訓練の一環として授業でも取り入れられています。また、全国各地、海外でも開催されています。

※イザ!カエルキャラバン!当日(9/30)は、錦糸公園でも「墨田区総合防災訓練」があります。

No. 61



安心と暮らしの町の手を繋いで

# 防災 まちづくり 瓦版

発行/一寺言問を防災のまちにする会

平成30年9月1日

[HP]http://hitokotokai.com

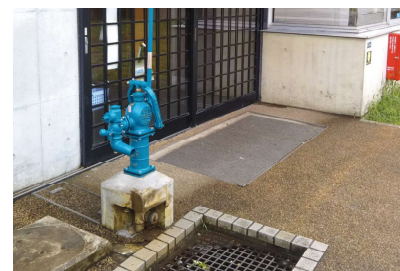
いちてらことい

一寺言問/防災まちづくり瓦版

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局  
発行/一寺言問を防災のまちにする会  
代表 青木 隆雄  
連絡先/墨田区都市整備部 都市整備課  
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel (5608)6261

## 「雨水」で打ち水をしよう！

7月24日～9月6日を「すみだ打ち水推進月間」とし、「路地尊(有季園・ハトホツト・会古路地)」で雨水利用の打ち水を実施しましょう。



一寺言問集会所の雨水を利用した路地尊

## 防災遠足in曳舟2018の開催！

実際に避難経路を歩く「防災遠足in曳舟(参加無料)」を10月13日(土)に開催されます。申込は、「ふじのきさん家(TEL:03-6657-2300)※火～土曜日)」まで。締切は10/1まで。



昨年の防災遠足の様子

## 有季園の野菜もすくすく！

一言会の人気事業・有季園(向島5)では、今年の猛暑も路地尊3号基の豊かな水で乗り切り、園の野菜も果物もすくすくと育っています。



生垣剪定の様子

## 民泊実態調査を実施します！

「一寺言問を防災のまちにする会(通称…一言会)」では、近年、まちなかに増加している「民泊(宿泊施設として旅館業などの届け出をしてない施設)」について、今年度から調査をしていくこととしました。理由としては、被災時などにこのような施設に宿泊している旅行者に対してどのような対応が必要なのか、考えていこうとするものです。このような施設の周辺では、深夜の騒音やごみ出し、また、言葉が通じないことや文化の相違によるトラブルもあると聞いています。

間近に迫る東京オリンピック・パラリンピックの影響により、これらの民泊への宿泊者も増大すると言われてはいますが、現在の状態では、国際交流どころか、「迷惑」というイメージで外国からの旅行者に対応する事態にもなりかねないと危惧しています。

私たちとしては、このような「民泊」への対応を考え、制度等を整える中で、日常的にも外国人旅行者と友好な関係を築けるよう、また、防災の立場からこのような旅行者や施設周辺の住民にとっても安全なまちをつくっていきたくと思っています。

今年度は、一寺言問地区を中心に民泊施設の実態調査として、民泊施設の立地や施設の概要、周辺住民の方の意見等を整理します。また、実態調査は、一言会と千葉大学鈴木研究室との共同で行います。一寺言問地区の住民の皆さん、調査へのご理解・ご協力をお願いします。また、民泊施設に関する情報を提供していただける方がいましたら、一言会事務局までご連絡ください。



私がまちづくりスタッフです。

その5 | 菅野 茂 さん

(向島5丁目在住)

一昨年度から一言会に参加してくれています。向島5丁目西町会の副会長、墨田中学校のPTA会長として、地域のお祭りなどの行事、地区の防災訓練、子どもたちの安全に関する活動を行っています。生まれは向島です。向島にもどってきて、23年になります。向島の自宅から見える隅田川花火大会が大好きです。

昨年度の「イザ！カエルキャラバン！in言問」で言問地区の関係者や企業などの調整をしていただきました。本年度も、「イザ！カエルキャラバン！in寺島」や「民泊実態調査」の企画や調整に協力していただいています。

一言会の理事会メンバーの中でも若いメンバーとして、今後とも地域と一言会を一緒に盛り上げていきましょう！

8月某日(英)

## 634サミット開催！

東京スカイツリーの高さは634mに因んで、634という数字や読みに関連する個人・団体・自治体などが一堂に会し、産業振興や個人自慢を語り合う、大真面目で、かつユーモアも混じった楽しい集会「634(むさし)サミット」を11月9日(金)に開催します。区の社会教育団体である「六三四塾(むさしじゅく)」が主催で、本年は第六回目「634サミット」を迎えます。

当日の優秀賞。プレゼンテーターには国土交通省の観光庁長官賞やいくつかの特別賞を贈呈し、参加者には別途審査の上、「634認定証」を差し上げる予定です。

さてそこで、皆さんのお知り合いやお近くに、そんな634がらみの方がいらっしゃいませんか。六三四塾では、634に関連する個人や企業の参加、お問い合わせをお待ちしています。

お問い合わせは090-8114-9594

(代表・小木曾こぎそ)までお願いいたします。もちろん、634やムサシに直接かわりがない、見物や野次馬としてご来会の皆さまも、大歓迎致します。



↑草加松原634本の松並木

【開催日】11月9日(金) 午後2時より  
【会場】東京スカイツリータウン  
ソラマチ5階9番地  
J:com Wonder Studio  
【料金】入場無料  
【主催】NPO法人 六三四塾



六三四塾シンボルイラスト Jack & Tree